

互适应, 从而守护好中华水塔, 维护好国家的生态安全。

那么从具体思路上来讲, 按照青海省的生态地位, 东部主要是治理水土流失的问题, 柴达木盆地主要是治理沙漠化, 荒漠化的问题, 环青海湖流域主要是实施好综合保护和生态治理的问题, 其中有共和盆地沙漠化的治理, 另外一个重点就是三江源地区, 主要是以水资源和草地的保护治理为主要内容, 目前三江源地区的生态保护已经上升为国家战略, 国务院已经正式批准成立三江源国家生态保护综合实验区, 通过成立三江源综合实验区来保护生态环境, 在中国尚属首次。今后主要应解决好以下这些问题: 一是处理好保护生态与加快发展的关系; 二是要不断转变经济发展的方式, 发展生态经济, 发展循环经济; 三是需要中央的大力支持, 建立健全生态补偿机制。四是需要增强生态和环境的检测能力, 五是提高全民的科学文化素质。

今天我在这里给大家简要介绍青海生态环境的状况, 以及目前采取的措施, 主要想说明一个问题, 就是人与自然的和谐是人类社会发展的前提, 构建和谐社会, 实现人类社会的可持续发展, 首先需要守护好青山绿水。虽然青海在生态保护上做了很多的工作, 但仍然处于起步阶段, 特别是对如何进一步保护好生态环境, 需要研究的问题很多, 从

经济方面, 从社会方面, 从制度方面, 从技术方面, 手段方面都需要研究。所以我们希望与爱知大学的国际中国学研究中心能够更好的合作, 对青海、特别是三江源的生态环境保护治理问题共同进行研究, 拿出更好的成果, 以便为政府决策服务, 或者说以便能够引起更广泛的国际社会的关注, 从而实现整个社会的和谐发展。对不起, 超过了规定的时间, 谢谢大家。

○座長 どうもありがとうございました。孫先生には青海省のお話をさせていただきました。中国から来られている先生方も、青海省に行かれています方はそんなに多くないのではないかと思います。改めて、この機会に青海省の持っている生態的な価値も知っていただいて、このような地域の保全、内部的には経済活動も内包したかたちのなかでの地域の在り方、その問題に関してご関心を持っていただければ幸いかと思います。

どうもありがとうございました。以上で、それぞれの方々の発表が終わりました。このあと、コメンテーターとして宮沢先生からコメントをお願いしたいと思います。では宮沢先生、よろしくお祈りします。

コメント

宮沢哲男（愛知大学）

経済学部で宮沢です。今日は4人の方々に多方面にわたる発表いただきまして、私にはとてもコメンテーターの任に堪えられそうもありません。

宋先生からは「和谐社会」とその定義づけにかかわるお話がございました。それで、いろいろなお話のなかで、前半部分はかなり詳しくお話しただいたわけですが、後半は時間の関係もありまして、朱安新先生のために時間を取らねばならない、ということもあったかと思いますが、特に水の安全と和谐社会のところのあたりをほとんどお話していただけなかったもので、ぜひとも具体的にご説明をお願いしたいです。あるいは、流域の水循環を事例に「水と和谐社会」という感じでお

話し願えればと思います。

一ノ瀬先生からは「農村と都市の調和した循環システム」というテーマで話されました。都市では大量の熱排気がおこなわれて、それによって生じるヒートアイランド問題から論じられました。例えば、韓国ソウルの事例が出ましたが、清溪川のところに海風が入り込んで冷却効果を起こすというご指摘でありました。世界は非常に広く多様ですので、各地域で環境は異なります。風には、山谷風、海陸風とか、いろいろあり、風向にうまく沿った平行状態の町並みであると、風の通りがよくなり、冷却効果が発揮できるような場合があります。風向と都市構造のあり方次第でその冷却

効果はあまり無い場合もあるかと思えます。そのように地域や都市によって環境が違いますので、地域ごとに独自のアイデアが必要になってくるのではないかと思います。もし、具体的な事例があれば、お話し願いたいと思います。例えば、環境を配慮した「まちづくり」の事例などがありましたら教えていただきたいと思えます。

朱安新先生は、私の専門からかなり離れていて、どのようにまとめていいのかわかりませんが、「社区」の研究のところ空白になっていると言われました。これから「社区」はどうあるべきなのでしょう。今までは、おそらく中国共産党に全部統一されていたわけですが、近年になって社区にコミュニティができてきて、それが政府との間でどの程度独立した存在になり得るのでしょうか。あるいはすべきなのでしょうということ、時間がなくてお話しいただけなかったかと思えますので、お話しいただければと思います。

孫先生は、今年の8月に5日間、われわれ藤田先生をはじめ5人を案内していただきまして、青海省の自然環境と退耕退林をはじめとするさまざまな環境へのアプローチを見て回りました。お話のなかにもありましたが、三川の源流域になっている青海省、黄河、長江、メコン河、あるいはサルウィン川（怒江）の上流も入ってくるのではないかと思います。そのような水源になる地域での環境保護を「責任」という言葉を使い、責任をもって生態保護を青海省でやらねばならないというお話だったと思えます。

孫先生は社会科学の偉い方ですが、そうではない方々からも何人かから「そういう水源地域の責任」についてお話を聞きました。つまり、青海省の水源地域の環境が、下流域、河口付近、あるいは海、海を通じて世界の環境問題にもかかわってくるという認識を持っておられたと、私は感じました。今日のお話をうかがって、そのような人たちがいったいどのレベルまで、孫先生のようなお考えでいるのでしょうか。どのレベルとは、県レベルなのか、市レベル、郷鎮レベル、そのようなものです。あるいは、農村社会まで浸透しているのかどうなのかということもお聞きしたいと

思えます。

和諧社会の定義がいろいろな人によってかなり違うようで、それぞれ自分の考え方で述べられておられますが、私なりに和諧社会という標語のイメージについて最後に述べたいと思います。私は中国科学院の宋先生と同じように水文学の分野なものですから、どうしても流域単位で物事を考えてしまいます。そこで、孫先生の講演に出てくるような青海省は、流域社会における最上流の水源地域のお話です。流域には、当然上流と下流があります。言い換えると、都市と農村の対立、格差の問題にもつながります。それで先ほどから、さまざまところで「格差」という言葉がキーワードになっています。その格差が最も如実に現れる地域の1つに流域の上流と下流があります。ですから、私は流域を一体化して考えないといけないのではないかと考えています。もし、上流の県とか国が好き勝手に水利用をすれば下流の地域との間に争いが生じます。ライン川ですと国レベルになりますし、日本の川であれば、県レベルで上流の県と下流の県との争いになるわけですが、そのような利害関係を越えたところで一体化する必要があります。つまり、水の循環は人間が作り上げた行政界とはかかわりなく存在するわけですから、その意味で流域全体を1つのシステムとして捉えなければいけないのではないかと考えています。ですから、孫先生が扱われている最上流における青海省の環境を、下流域を意識して保護・管理する、といったことがボトムアップにつながり、流域の公正な水利用につながると思えます。つまり、小さな流域単位をバランスよく管理し、それらを積み上げて全体の流域を統治するという方向に行くことが、私にとっての和諧社会になるのです。コメントになりませんでした。以上です。

○座長 どうもありがとうございました。宮沢先生からそれぞれの方々にコメントがありました。後ほど少し時間のなかでお応えがあればと思います。